

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	旧大和町地区において、新設校のロケーションとして中島小、大和中とした理由は？	将来的には現大和中の位置に小学校を設けるのが最も良いと考えているが、まずは、喫緊の課題である複式学級解消のため、小学校の再編を先に進めたい。現大和中を(仮称)大和小として使うには、大和中と三橋中の統合を待つ必要があるため、一旦仮移転という形で現中島小を活用するよう考えている。なぜ中島小かといえば、旧大和町地区において端に位置しておらず、校舎が最も大きいことが理由である。
	スクールバスはどの範囲に適用されるのか？未定だとは思いますが、中島校区以外の校区には出ると考えて良いか？	具体的な部分は未定であるが、中島校区内でも2kmを越える部分がある。校区で区切る等、保護者の皆様が納得されるような案を再編協議会(仮称)の中で検討していただきたい。また、所要時間等の関係で、各家庭を回るのは不可能だと思われる。どこかに停留所を設けてそこに集合する形を想定している。
2	豪雨の際など、学校から保護者に対し緊急メールでお迎えを依頼されることが年数回ある。統合して保護者数が多くなれば、現中島小の立地では周辺の道が狭く、送迎に対応できないのではないか？	豪雨の際のお迎えなどについては、今後もありうると思われる。そのため、どのような方策をとるかは学校で検討していくことになる。例としては、早めに判断した上で、低学年から順に時間をずらしてお迎えに来てもらうなどの対応が考えられる。
	近頃、物価が高騰しているが、学校再編の資金面で保護者に負担がかかるようなことはあるか？例えば寄付等。	学校を再編するにあたり、保護者からの寄付を前提とした整備は想定していない。例えば、体育館建設の際に、PTA等から綴帳を寄付していただく事例はあるところだが、施設整備の資金を保護者に直接負担していただく事は考えていない。
3	再編協議で決める事柄が多いが、R6度の開校まで期間が短い。協議がまとまらず、開校が後ろ倒しになる可能性はあるのか？	可能性はある。私共も非常にタイトなスケジュールであると感じている。旧大和町地区においては、保護者および地域住民の一体感への期待も含めて、1年半程度での協議ができればと考えている。もし開校までに必要な協議がまとまらない場合は、開校を後ろ倒しにすることは考えられるが、他の新設校の開校は後ろ倒しにはならないよう、並行して協議を行い、可能な限りスケジュールに沿って進めたい。
4	皿垣校区で徒歩通学となった場合、狭い道や歩道がない道がほとんどである。子どもたちが安全に登校できるように通学路の整備をお願いしたい。特に、歩道や路側帯を作って欲しい。	ご要望として道路管理者に伝えていきたい。現在でも、通学路の安全対策協議会などで挙げた要望箇所について対策を検討し、整備を進めているところである。ただ、開校までに全ての箇所を整備するのは難しい。道路拡張を伴う歩道整備については、毎年、できる方法で少しずつ整備しているところである。特に、児童生徒の通行が多い道路については、きちんと改善に向けての努力をしていきたい。
5	昨今の豪雨災害は想定外の規模である。皿垣校区内には高い建物が小学校しかない。跡地の活用は今後検討するとのことだが、垂直避難等のため、避難所として活用することを考えて欲しい。	跡地活用に対する地域のご要望として承る。跡地の活用については全くの白紙であるが、説明会の中でも、避難所としての活用や企業誘致の用地としての活用、また、体育館はそのまま残して欲しいといった要望がいくつか挙げられているところである。今後跡地の活用を考える際には、このような地域の要望を含めて検討したい。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
6	校区ごとに様々な団体が組織され、「皿垣校区〇〇会」等の名称で活動しているが、皿垣小がなくなった場合にそれらの組織がどうなるのか知りたい。	まず前提として、再編の基準として、既存の校区を組み合わせ、かつ小学校の再編では旧市町の範囲を超える組み合わせを行わないとした理由は、小学校区と地域コミュニティの結び付きが非常に強いためである。また、公民館連絡協議会や区長会など多くの地域組織が旧市町のまとまりで動いている背景がある。したがって、ご質問の団体活動の今後については、例えば公民館組織は、現校区に整備されているコミュニティセンターを核として、今後も現行のまま維持される予定である。ただ、学校再編をきっかけに、組織・団体それぞれで存続や廃止、統合を判断される場合もあると思われる。基本的には、旧大和町地区の6校区が協力して、新しい学校を支えてもらいたいと考えている。